



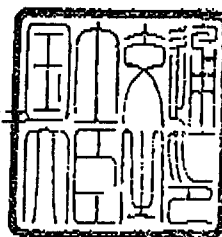
認 定 書

国住指第351号

平成14年2月4日

三菱マテリアル建材株式会社
代表取締役 野田文彦 様

国土交通大臣 林 寛



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項（同法88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第2条第七号並びに同法施行令第107条第一号及び第三号（屋根：各30分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
FP030RF-9100
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称
ラス入セメントパーライトモルタル塗・木毛セメント板野地板金属板瓦棒葺屋根
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容
別添の通り

4. 釘保持力

釘保持力は、合板の厚さと釘の種類の影響が大きく、実験値は表-4に示す通りです。

表-4 釘保持力の実験値

	25+12	30+12	25+15
タッピンビス	190	190	250
木皿ビス	140	140	230
丸釘	24	24	38
スクリュー釘	70	70	110
アーバニー用	75	75	110
コロニアル用	60	60	100

5. 断熱性能

製品の標準的な熱抵抗、熱伝導率の計算値は、表-5に示す通りです。

表-5 熱抵抗・熱伝導率

		熱抵抗 (m ² ·h·°C/Kcal)				熱伝導率			
		木毛パーライトセメント板				木毛パーライトセメント板			
		25	30	40	50	25	30	40	50
針葉樹合板	12	0.358	0.413	0.524	0.638	0.103	0.102	0.099	0.097
	15	0.378	0.433	0.544	0.658	0.106	0.104	0.101	0.099
	18	0.398	0.453	0.564	0.675	0.108	0.106	0.103	0.101

6. 音響性能

製品の吸音性能は、室内側の木毛パーライトセメント板の厚さによって決まり、標準的な「残響室法吸音率」は、図-1に示す通りです。

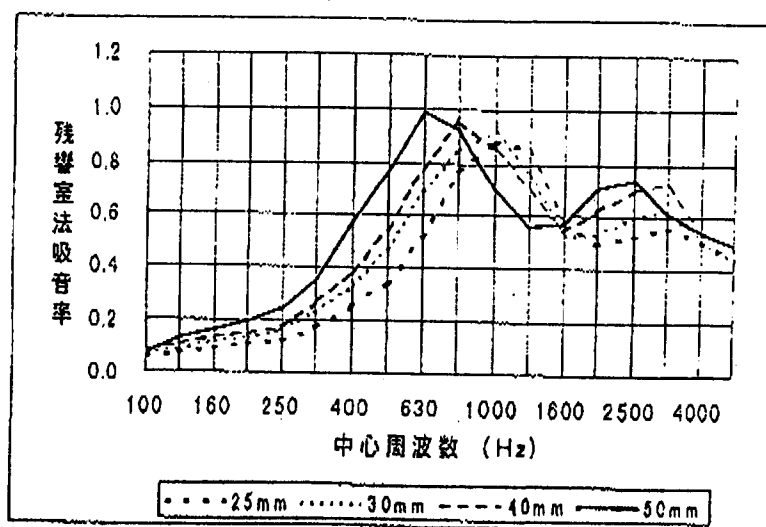


図-1 残響室法吸音率

7. その他

パネルを取り付ける場合に使用すると施工性が非常に良くなるビス（ユニクロシンワッシャー・リーマ付き・ドリル&ドライブ）を準備しています。

曲面对応は、合板と木毛パーライトセメント板の厚さによって、可能な半径や納期が異なります。

商品に関わる疑問などにつきましては、遠慮なく当社までご相談下さい。